



イマジン  
ロータリー

国際ロータリー第2610地区  
南砺ロータリークラブ

# クラブ会報 なんと



NO. 2563

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail [office@nanto-rc.jp](mailto:office@nanto-rc.jp)

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

写真提供  
写真同好会

谷村修基会員



「大雨の後」

## 第2624回例会 令和4年8月15日(月)秘かな雨

《例会変更》 早朝例会 城端別院 善徳寺

◆点 鐘 6:15 古瀬喜八郎会長

◆司 会 谷村修基SSA

◆ソング 「それでこそロータリー」

◆ゲスト 河合宣朋城端別院輪番代行

◆会長の時間 古瀬喜八郎会長

早朝から、また足許の悪い中お集り戴き有難うございます。今日8月15日は77回目の終戦記念日です。多くの戦争犠牲者を悼みたいものです。またウクライナ侵攻、内では東北、新潟、福井の豪雨災害など心が痛みます。お見舞い申し上げます

### 「風鈴」について

暑い夏を涼しく過ごす先人の知恵に「五感の涼」があります。風を通して目にも涼やかな簾や葦簀、爽やかな肌触りの浴衣や甚平、家の前の道や庭などに打ち水をする立ちのぼる土の匂いなどが該当します。

この時期にかぶりついて食べる甘いスイカは火照った体を冷やしてくれます。そして、音を聞いて涼味を感じさせるものの代表格が風鈴です。

風鈴の起源は約二千年前の中国で、風の向きや音の鳴り方によって吉凶を占った「占風鐸」であるといわれています。これを僧侶が日本に持ち帰って青銅製の「風鐸」が魔除けとして寺院のお堂や塔の軒先に吊るされるようになりました。

江戸時代になるとガラス製の風鈴が登場しました。やがて庶民の間に広がり、ガラス製の江戸風鈴、金属製の南部風鈴、陶器製の伊万里風鈴などが作られるようになりました。

虫の声を聞き分けて趣を感じられるような日本人の繊細な耳が、風鈴の文化を根付かせたともいえるかもしれません。



### ◆幹事報告 尾山裕和副幹事

①ガバナー事務所より、第2610地区大会(富山市)の案内 10/22(土)指導者研修会 10/23(日)本会議 国際会議場にて登録を早めにお願ひしますと依頼がありました。

### ◆委員会・同好会報告

●社会奉仕 森 雄一委員長

8/21(日)親子ふれあいフェスティバル(例会)

9:00 集合、準備

11:00~15:00 親子ふれあいフェスティバル

15:00~15:30 清掃活動(できるだけ)

ご協力ください)

※雨天決行、荒天の場合は中止。

場所:小矢部川福光大橋西側河川敷 (桜橋上流付近)

※ロータリーポロシャツの着用、

出欠の返事は8/17まで



### ★ニコニコボックス

8/15 谷村賢治委員長報告

古瀬君 早朝例会 善徳寺様にて。合掌

荒井君 盆前中はありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ致します。

川合君 雨の中のお盆例会、涼しくて結構な例会です。

尾山君 輪番代行河合宣朋様、法話よろしくお願ひ致します。

牧 君 生憎の空模様ですが、やはり清々しい雰囲気です。

古軸君 お盆例会に出席して。

高野君 今年も無事おまいりできました。感謝。

柿 君 河合宣朋輪番代行、法話よろしくお願ひします。

松村君 今年も早朝例会に出席できました。

木村君 『先祖や両親(亡くなってます。)に感謝』と思いつつ一年が過ぎるのが早く感じる歳となりました。思う事が増えるのをおさえてスッキリとお盆を迎えます。

森 雄君 8/21親子ふれあいフェスティバルへのご協力、よろしくお願ひします。

山田清君 城端のお盆はあんころ、5店で50個揃えますが、息子と二人で30個は食べます。

安居君 合掌 合掌 合唱 !!

中田祐君 久しぶりの善徳寺、迷ってしまい遅刻。失礼しました。

谷村賢君 いつもなら早く目が覚めるのに、今日に限って寝過ごしました。(汗)

### 本日のプログラム 8月21日(日) 第2625回例会

《例会変更》親子ふれあいフェスティバル(小矢部川河川敷)

9:00~15:30 担当 森 雄一社会奉仕委員長

### ◆出席報告 松本敏博委員長

会員数	8月15日出席率	8月2日(修正出席率)
44 (免除2)	65.91% (欠15)	63.64% (欠16・内メーク0)

### 次回の予定 8月30日(火) 第2626回例会

ガバナー公式訪問 黒川伸一第2610地区ガバナー

(富山南RC) 担当 古瀬喜八郎会長

四つのテスト  
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



前亀淵輪番が退任され、新しい輪番が決定するまで代行として携わっている。

社会情勢が混んとした時代、戦後 77 年目の終戦記念日。

私は 70 歳で、戦前、戦中を体験していないが、五濁悪世、阿弥陀様の教えにより現代までの世を考えてみたい。

**五濁悪世。** 5つの濁とは、劫、見、煩惱、衆生、命。5つの濁に悪が蔓延る世の中。

**劫濁。**

お釈迦様の時代から、争いが終わらない、天災が度々とおこる、原発事故など人災もあった。広い解釈では地球の温暖化や、流行り病なども含まれるかもしれない。

**見濁。**

SNSの時代であるが、昔から思想、イデオロギー、正義の主張が争いをおこす。

現代においても情報の氾濫、プロパガンダなど、何が本当かわからない。

正義や真実は人の数だけある。ぶつかり合えば国同士の戦争に発展する。

以前、大阪の平和集会でマイクを握り、訴えた瀬戸内寂聴さんの言葉が耳に残っている。

「戦争にいい戦争も、悪い戦争もない。戦争は人と人との殺し合いだ」

ロシアのウクライナ侵攻。人と人との殺し合いは今も続き、軍人だけでなく、子どもや女性など、一般人の犠牲も生まれている。

日本も77年前までの戦争、敗戦を経験しているではないか。

**煩惱濁。**

煩惱は人を悩ますが、生きる力でもある。

煩惱の仕業で、自分への執着、認められたい心、優越感や劣等感を生み出す。

それが、貪り欲す心を生み、叶えられない怒り、虚しさにつながる。

お釈迦様は 29 歳で 5 人の供と、真実を求めて求道の旅に出る。

苦行の末に真実を求めるが、あまりの苦しさに、ひとり山を下りてしまう。

菩提樹の元で瞑想に耽るなか、人間の真実のあり方、縁起の道理に目覚める。

人間はすべて縁によって生かされていると、仏覚者になり、5人の弟子へ説法を始める。

**衆生濁。**

他人を顧みることを忘れ、自分だけが良ければとの考えが、人間の質が低下して行く。

自分で選んでこの世に生を受けたものはおらず、生まれてすぐに自立できた者もない。

人の世話になりながら、現在の命をいただいた。

その命のつながりに生きている。

阿弥陀教に供命鳥の話が出てくる。

1つの身体に2つの首。

一方の首は、いつも相手の首がいなくなることを願っていた。

ある時、相手の首をくちばしを使い毒殺してしまう。1首になり、楽になった

と思った途端に1つの身体に毒が回り、自らも死んでしまった。

**命濁。**

人を殺したり、みずからの命を粗末にする。

生きることに意味に気づかず、自殺するのは人間だけである。

五濁の時代、悪が蔓延る時代、暗い時代だからこそ、念仏の教え

が必要であると、親鸞上人が説いた。

親鸞上人は地獄の側に立った生き方で、法然上人と会い、教えの

喜びに気づいていった。今日、これからも尊いご縁がいただける

毎日にしていきましょう。

仏教のことば。「濁」は、汚れ、汚れること。「五濁」は、悪世になると起きる五つの汚れのこと。劫濁こうじよく(飢饉・天災・戦争などが起きること)・見濁けんじよく(誤った考えがはびこること)・煩惱濁ほんのうじよく(人をまどわすような煩惱がはびこること)・衆生濁しゅじょうじよく(人の心身の資質が下がること)・命濁めいじよく(人々の寿命が縮まること)をいう。「五濁が現れるよ  
うな、悪い世の中」という意から。出典『法華経ほけきょう』方便ほうべん



城端別院善徳寺本尊阿弥陀如来像



365日欠かさず行われる御朝事

**城端別院 善徳寺 歴史ご案内**

城端別院は真宗大谷派の寺院で寺号を善徳寺、山号を廓龍山と号す。蓮如上人が吉崎に於いて精力的な布教をされていた頃、本願寺第五代純如上人の孫である蓮真是蓮如上人の願いにより現在の石川県と富山県の県境にある砂子坂に文明年間(1470年頃)に一寺を建立し、蓮如上人を開基、自身を第2世とした。その後、布教活動とともに寺所を移転し、第5世祐勝の時代に現在の城端町に移転してきた。

第6世空勝は本願寺と織田信長との石山合戦に参戦し、あくまで本願寺を死守しようとする教如上人(東派1代目)に協力し尽力を尽くした。この事が後の東西分派で善徳寺が東派になる事や、江戸時代に於いて越中東方の最有力寺院としての地位や役割を果たす事になった。

また江戸時代には加賀藩前田家の庇護のもと、越中の触頭役(頭寺)を勤め隆盛し、時には加賀藩主の子を住職として迎えることもあった。

以来、開法の間として地域の方々に慕われ支えられて今日に至っている。験について意見や感想を伝える機会を与えることも重要です。(HPより)

(今回の会報担当・山田清志)